

事例30 農村資源を生かした産直活動の展開

南郷村 門前

協定面積 畑15ha 協定参加者 30人

- 門前集落は、純農村の風情をそのまま残した田園空間として豊かな農村資源に恵まれています。対象農地は傾斜地に広がる畑となっており、果樹や野菜が作付けされています。
- 集落協定締結の際は、一戸当たりの交付金はわずかであるので、集落全体でまとめて活用することになり、全額52万円を共同活動費にすることにしました。
- 共同活動は、農道・水路の管理や耕作放棄地の管理耕作などのほか、平成14年度には産直施設が完成することから、現在はそのオープンに向けノウハウの研修を実施しています。
- また、観光農園を開設する予定のため、観光農園研究会を設置することとし、集落協定と連携を図って活動していきたいと考えています。



産直活動のための視察研修